

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 エンジョイウエルヴィレッジ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 36名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 5日		2025年 1月 23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 36名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園や学校の受け入れ体制が整っていたり、児童発達支援センターを利用しているお子様の事業所での様子を見てもらうことができ、交流をもてやすいこと。	訪問の際の情報交換をするだけでなく、普段の様子での変化が見られた場合に、訪問先に電話連絡をしている。また、事業所の様子を見ていただけるように勤めている。	今後とも情報を共有しやすい雰囲気作りを、普段から意識していく。
2	児童発達支援センター利用時の送迎があるので、日頃から情報を交換できること。	事業所のスタッフが、日頃の細かい様子などを詳細に伝えていく。また、園での様子も全職員に共有し合っている。	送迎時に、事業所のスタッフからお声がけするなど、話しやすい雰囲気を心がけていく。
3	支援に精通した者や、保育所等訪問支援を数年経験した者が配置されていること。	訪問先に安心してもらえるよう、訪問開始前に顔合わせを行っている。	さらに等質の向上を目指していけるように、研修等の機会を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への説明が行き届いていないこと。	説明の時間が確保できていないこと。	対面だけにとらわれず、電話や公式ライン等でやり取りをするなど、保護者様の満足度につなげていく。
2	全員揃って研修をする機会の確保がもてないこと。	4月に開所し、既存、新規の訪問の件数が過密になってきており、研修の確保まで行き届いていないこと。	来年度に向けて、研修計画を立てていき、円滑に回るようにしていく。
3	人員配置が少ないこと。	最低人員は配置されているが、訪問先の園が増えてきているため、訪問先が満足できるスケジュールが組み辛いこと。	可能な限り人員を補充していく。人員を補充できた場合、ケースカンファレンスなどの研修を通して、質を確保していく。